

(様式⑦-1 小学校・中学校)

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

中学校区におけるめざす子ども像
失敗を恐れずに自分で考えて決断できる子

堺市立 登美丘南小学校
校長 小松 豊

令和6年度 重点目標
子どもがつくる学校「みんなのとみなみ」
・子どもが選ぶ・決める場面の創造
・互いに尊重し、認め合い、助け合う学校

確かな学びの現状 昨年度までは以下の項目に力を入れて取り組んだ。 1, 自分の思いを表現・発信できる授業を通した対話的で深い学びの醸成 2, 言語活動の充実による言葉の力の育成 3, 視覚化・構造化・焦点化など, ユニバーサルデザイン(UD)を活かした授業の創造 「確かな学び」における継続的な取り組み事項 1, 目的のある適切な対話の場面の設定 2, 継続的な言語活動による言葉の力の育成 3, ユニバーサルデザインを生かしたわかりやすい授業展開	豊かな心・健やかな体の現状 昨年度までは以下の項目に力を入れて取り組んだ。 1, 自尊感情を高めるための具体的方策 2, 全学年, 年間を通しての効果的・計画的な道徳の授業 3, 児童の体力向上 「豊かな心・健やかな体」における継続的な取り組み事項 1, 生活アンケートや啓発活動・授業によるいじめ防止 2, 7つのやくそく等の基本的な生活習慣の確立
--	--

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	わくわくしながら 学びに向かう子	探究的な学びにおける 課題設定研究をすすめる。	年間を通じて, 学年ごとに授業研究に 取り組み, 授業改善について学ぶ。	授業改善に向けて, ワークショ ップ型討議会を活用し 学んだことを実践する。 校内研修の実施, 外部講師を招 待しての研修会の実施。	研究時授業や研 修会の実施	学年末	○ 【授業改善】 2～6年の授業公開を終えた。共 通のテーマのもと, 子どもが主 体的に取り組むことができる授 業の研究を進めている。 【学びの自己決定】 「自分の学習の仕方を考えてい る」項目において, 84%が肯定 評価。	◎ 【授業改善】 今年度全学年で取り組んだ研究の成果と課題 から, 来年度のテーマ設定を行った。全職員で 研修の方向性を共有し, 「子どもが学びを進め る」授業づくりを研究していきたい。 【学びの自己決定】 マイチャレのアンケートから, 学びを自分で決 められることに楽しみを感じている児童が多い ということがわかった。さらに子どもたちが, 意 思を持った自己決定ができるよう, 全職員で取 り組んでいきたい。	◎ 以前と学習の方法が変わってきた ことを感じる。児童が自ら学び方を 決定する取り組みを来年度も継続 しながらも, 何を学習したら良いの か決めることができない児童に対 して, 教員がどのように学習のサ ポートを行っていくのか教員の役 割についても検証してほしい。
豊かな心・健やかな体	主体的に自己決定・ 協働できる子	子どもが主体的に学校を良くして いこうとする。	子ども主体の特別活動 「とみ活」の推進。	とみ活での活動を 振り返るアンケートを児童に実 施。	生徒指導アンケート	毎学期末	○ 【とみ活】 子どもたちの主体性に関す る全項目で全児童の90% 以上が肯定的評価。	◎ 【とみ活】 年間を通して, 児童の自己決定・自己選 択をテーマに全校で学校創りに取り組 み, 子どもたちの主体性に関する全項目 でも年間を通したアンケートで全児童の 90%以上が肯定的評価だった。来年度 も引き続き同様の取り組みを改善・推進 していきたい。	○ 児童が自主的に活動に取り組めて 学校を良くしていこうとする取り組 みが良い。また個性を大切にする というアンケート結果で肯定的に自 身を捉えている児童が多いのもよ かった。色々な価値観が集まる学 校が, 個性を大切にし, 緊張感を 持たず自分自身を表現できるよう にあってほしい。
		互いに尊重し, 認め合い, 助け合 える仲間づくりの推進。	学年ごとに仲間づくりの取り組みを進める。	仲間づくりに関する肯定的で 評価。	人権アンケート	毎学期末	○ 【人権】各クラスの取組を通 じて, 「個性を大切にする」 項目について, 全校児童の 90%が肯定的評価。	○ 【人権】 人権アンケートでは90%以上が肯定的 評価だった。来年度も各クラス様々な仲 間づくりの取り組みを実践していきたい。	○ 来年度は運動が苦手な児童が, 自 ら目標を立てて学習に取り組める ように活動を行ってほしい。 PTAとの協働により, 年々児童が 朝ごはんを食べるようになってきて いることが良かった。歯磨きの指 導について保健センターや外部機 関と連携し, 児童の健康的な生活 習慣の確立に努めてほしい。
	体や心に関心を 持つ子	健康的な生活習慣の確立。	体育の授業において児童自身が課題を設 定し, ふりかえりを充実をする。 3回実施する「生活調べ」の実践を通して, 自身の生活習慣を見直す。	体育の課題設定・ふりかえりに 関するアンケートの肯定的で 評価。 学校生活における生活習慣に関 する指導と保護者への啓発。 学期ごとに実施するアンケート の改善の実態で評価。	学校アンケート (児童用) 生活しらべ	学年末 毎学期末	△ 【体育】 体育カードやワークシートを使っ て単元ごとに振り返りを行った。 【生活調べ】 早起きは80%朝食を毎日食べ るは96%となり昨年度より上 がっている。しかし毎日朝食を たべていない児童が4%いてい る。	△ 【体育】 振り返りができていると答えた児童が全 体の70%ほどだったので, 次年度は単 元や授業での1時間の目標や身につけ たい力を児童と共有していくことや, ふり かえりをもっと取り入れていく必要がある と感じた。 【生活調べ】 生活調べをすることで, 自分の生活習慣 を知ることができた。ただし本校の実態と して, 以前よりも虫歯の比率があがっ てきているので来年度は正しい歯磨きの方 法に関する授業を実施したい。	○ 来年度は運動が苦手な児童が, 自 ら目標を立てて学習に取り組める ように活動を行ってほしい。 PTAとの協働により, 年々児童が 朝ごはんを食べるようになってきて いることが良かった。歯磨きの指 導について保健センターや外部機 関と連携し, 児童の健康的な生活 習慣の確立に努めてほしい。
地域協働	信頼される学校	地域全体との連携を進め, 地域協働による子どもの育成 を図る。	自治会・PTA・子ども会と協働した取り組み を行うことで, 地域との連携を深める。	学校アンケートの肯定的評価 80%以上がA, 60%以上がB	学校アンケート (教職員用)	学年末	○ 日々ホームページにて教育活 動を積極的に公開している。地 域の方, PTAと協働し地域行事 も実施している。	○ 学校アンケートにおける「HP等で学校の 教育活動について地域に公開する」の項 目について肯定率は95%だった。 来年度も地域の方々, PTAと協働して開 かれた学校づくりを推進していきたい。	◎ 自治会・PTA・子ども会と協働して 子どもの育成を図ることができた。 来年度は校区の小学校や中学校 とも連携を深めてほしい。
			学校通信, HP等で学校の教育活動につい て地域に公開する。	学校アンケートの肯定的評価 80%以上がA, 60%以上がB	学校アンケート (教職員用) 学校通信, HPの 記録	学年末			

校長より(年度末)
今年度は, 探究的な学びについて研究を進めるとともに, 子どもを主語に教育活動を構想し, 「子どもが選択する・決める」場面を意図的・計画的に取り入れてきた。子どもの主体性を育むとともに, 多様性を認め合う温かい集団づくりに取り組むことで, 子どもたちが生き生きと活動する場面が多く見られた。来年度も, 「子どもが自ら学びを進める授業」や子どもの自己決定を支援する伴走者としての教師の在り方について引き続き研究を進め, すべての登美丘南小学校の子どもが, 毎日来てよかったと思える, 優しさや温かさがあふれる学校づくりをしていきたい。

学校関係者評価者から(年度末)
地域も学校と協働して, 子どもが過ごしやすい地域にしていきたい。来年度は「学校群」の取り組みが本格的に始まるので, 中学校区におけるめざす子ども像である「失敗を恐れずに自分で考えて決断できる子」を推進できるよう協働して児童・生徒を育てほしい。
児童主体の授業づくりを進めていきながらも, 単に児童が好きに取り組むだけでなく, どのように教師が介入し, 学習を支援していくのかも研修を通して深めてほしい。